

市内の遺跡をご紹介します！

かとりばらこふんぐん  
香取原古墳群



しょうわ ねん かわ ま じょうけんせつ  
昭和31年(1956)、川間のゴルフ場建設  
さい はっけん い せき の  
の際に発見された遺跡で、ゴルフ場と野  
だ し りつ と う じ せきやどちょうりつ き ま が せちゅうがっこう  
田市立(当時は関宿町立)木間ヶ瀬中学校  
せい と きょうりょく おこな はくくつ ちょうさ けつ  
生徒の協力により行われた発掘調査の結  
か き えんぷん かくにん  
果、3基の円墳が確認されました。古墳が  
つく  
作られたのは、1号墳が6 せい き こうはん  
世紀後半、2号  
まっ しょうとう  
墳が5世紀末～6世紀初頭、3号墳が6世  
すいさつ たすう はに  
紀初頭と推察され、1号墳からは多数の埴  
わ ちよくとう てつけん  
輪が、2号墳、3号墳からは直刀や鉄剣、  
てつぞく ふくそうひん  
鉄鍬などの副葬品が発見されました。

現在、古墳はゴルフ場となっており、  
見学はできません。